



現在、市内の中学校区内で取り組んでいる「ささえあい協議会」は、高齢社会の進行を踏まえ、校区内の各種団体が連携し、地域独特のささえあいのしくみづくりを進めています。

今回は、加古川北ささえあい協議会(以下、「協議会」という。)の取り組みをご紹介します。

神野町、新神野、八幡地区で構成する協議会では、それぞれが抱える地域課題の解決に向けて、地域性に応じた取り組みを進めるため、各エリアでワーキングチームを結成しました。そして、3エリアともに、住民同士のつながりを深め、互いに助け合い・ささえあえる地域づくりを進めています。

神野町

地域の困りごと(ニーズ)を把握するため、70歳以上の高齢者を対象にしたアンケート調査を実施しました。アンケート結果を受けて、通院や買い物などの「移動支援」や、身近な場所で住民同士が交流できる「通いの場づくり」、住民が抱える生活上の悩みや困りごとなど、「地域課題を受け止める場づくり」に取り組んでいます。

なかでも高岡町内会は、「移動支援」のモデル地区として毎週月曜日、町内2カ所に移動販売車が来ています。毎回20人ほどが買い物に來られ、買い物の後におしゃべりを楽しむなど、買い物不便の解消だけでなく、新たな交流の場となっています。



▲移動販売 (高岡会館横)

新神野

高齢者が抱える生活上のちょっとした困りごとへの支援が必要という協議から、まず、足の不自由な高齢者へのゴミ出し支援を進めることになりました。現在、モデル的に6丁目町内会で、ゴミ集積場へ搬出することが困難な高齢者に代わり、地域のボランティアがゴミ出しを手伝っています。収集時には声かけをすることで、対象者の見守り活動も兼ねています。

また、助け合い活動の普及啓発として、新神野独自の「共助スローガン」を決め、新神野会館、町内の集会所や掲示板、地域にある事業所などにポスターを掲示する予定です。

そのほか、住民同士のつながりを深めるため、世代間交流などのイベント活動の実施に向けて協議していきます。



▲ゴミ出しボランティア

八幡地区

住民相互の交流づくりに向けた取り組みとして、昨年11月と今年3月に、八幡町を流れる草谷川の遊歩道や八幡ふれあい交流館を利用した「八幡ふれあいウォーキング&カフェ」を開催しました。

いずれも100人以上の参加者がありました。ウォーキングは健康増進やフレイル予防に役立ち、カフェではお茶を飲みながらのおしゃべりやゲームを楽しみ、体力測定を通じて、健康意識を高めてもらうことができました。

また、各種団体同士の関係性も深まり、地域力アップにつながるイベントになりました。

参加者からは、「しばらく歩くことがなかったが、友達と一緒に楽しくウォーキングできた」、「日頃、会えていない方や町内以外の方と会話ができて嬉しかった」、「今後も継続して開催してほしい」といった声が聞かれました。

今後、八幡地区の年中行事として、春と秋に開催することになりました。



▲ふれあいウォーキング



▲「八幡ふれあい交流館」横のカフェ



▲スマートフォン講座

他にも、住民が交流する機会づくりの一つとして、今年2月、「スマートフォン講座」を実施しました。

スマートフォン操作を教え合うことで、参加者同士の距離が縮まり、同じ地域に暮らす住民相互のささえあい意識の醸成にもつながっています。

最後に

協議会では、このような各エリアの取り組みを報告し、共有する場となっています。協議会メンバー同士が共感し、地域に活気あるやさしい輪が広がっていくよう、これからも取り組みを進めていきます。

社協には、各地区担当の生活支援コーディネーターを配置しています。
地域活動で気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。

問合せ先：地域福祉推進係 TEL：079(424)4318(代)